

裸眼3Dディスプレイ用立体8視差コンテンツ自動生成装置評価キット発売

2013年7月12日

株式会社ニューサイトジャパン（NSJ 本社東京都港区、神田清人社長）は先に発表した2D映像または3D2視差映像からリアルタイムで8視差3Dコンテンツに自動変換する装置と裸眼24インチディスプレイをセットにした評価用キットを発売した。

同社ではゲーム業界やサイネージ業界で既に商業用等の2Dコンテンツを既に保有している企業が3D事業を立案する段階で評価キットが必要であると判断し発売に至った。

入力信号は次の3種類に対応している。

- 1) 2D映像
- 2) 3D/2視差（サイドバイサイド）
- 3) 2D+Z（デプスマップ）

価格：

24”インチ裸眼3Dディスプレイ+リアルタイム8視差3Dコンテンツ生成装置のセット価格：500,000円（税抜き）

■製品仕様：24インチ裸眼3Dディスプレイ

画面サイズ：24インチ

3Dレンズ：8視差レンチキュラーレンズ方式

解像度：1920 X 1200

輝度：300-350cd/M2（3D映像表示時）

視野角：90度（左右）

入力：DVI/RGB

入力電源：AC100-240V

外寸：550mm X 360mm X 50mm

重量：12Kg

■製品仕様：8視差3Dコンテンツ自動変換装置

入力信号：2D映像、3D/2視差（サイドバイサイド）、2D+Z（デプスマップ）

出力信号：8視差映像

接続端子：DVI端子

重量：約0.5Kg

■オプション

組込用基板実装カスタム開発

参考情報：

■株式会社ニューサイトジャパン

本社：東京都港区

<http://newsightjapan.jp>

裸眼3D技術を持つ企業。LCDパネルを3D化する技術が特徴。

パララックスバリア方式の裸眼立体3Dディスプレイを開発してきたが、レンチキュラーレンズ方式の裸眼視立体パネルを今後主力事業のひとつとして事業展開する。

本件に関する問合せ：

株式会社ニューサイトジャパン

担当：杉本

03-3509-6461

info@newsightjapan.com